

らしんばん

〒466-0059

名古屋市昭和区福江3丁目5番10号

自立援助ホーム慈泉寮内

就労支援事業 サポートいずみ

TEL (052) 881-7583

FAX (052) 881-7746

E-mail: supportizumi@syoutokukai.or.jp

<https://syoutokukai.or.jp/izumi/>



いずみ 巣立ち通信23

2025年度 第2号

発行責任者 濱田 光男

編集責任者 村本 寛明

リチウムイオン電池の発火に注意！！

最近モバイルバッテリーなどの発火による事故のニュースを聞くことが多くなりました。

事故の原因として、製品にリチウムイオン電池が使用されていることがあげられています。リチウムイオン電池は、モバイルバッテリーのほかにもスマホ、ワイヤレスイヤホン、携帯用扇風機などいま多くの人が持っている様々な製品に使われています。

皆さんが、事故にあわないように、消費者庁の出している資料を参考に使用するときや捨てる時のポイントを紹介しておきます。



1 使用するときの注意

(1) 強い衝撃や圧力を加えない

壊れることがあり、発火や爆発することもあります。時間がたってから起きることもあります。

(2) 高温になる場所では使用・保管をしない

暖房器具の近く、カバンなどの熱のこもりやすい場所での使用・保管はさげましょう。

(3) 充電は安全な場所で起きているときに行う

寝ているときなど、発熱や発火に気づかず、気づいたら発火しけがに巻き込まれることがあります。

(4) おかしいと思ったら使用をやめる

熱くなる、突然電源が切れるなど、いつもと違うことが起きたら使用はやめましょう。

(5) 発火したらまず離れ、大量の水をかける

まずは身の安全を確保、その後大量の水をかけるなど消火しましょう。できないと思った時は119番です。

(6) 製品情報。リコール情報を確認する

安いからと買うのではなく確かな商品を買います。買ってからもリコール情報を見るようにしましょう。

(7) 公共交通機関では、持ち込みルールを守る

公共交通機関で発火させてしまうと多くの人を事故に巻き込んでしまいます。航空機の機内持ち込みは厳禁です。

2 廃棄するときのポイント

- (1) リチウム電池が使用されているか確認する
充電できるものや電源につながなくても使用できるものには注意しましょう
- (2) リサイクルできるものはリサイクルする
排出協力店や協力自治体に持ち込む
- (3) 廃棄方法を確認して、廃棄する
「〇〇市リチウムイオン電池 捨て方」などで検索して調べましょう
- (4) なるべく電池は使い切ってから廃棄する
しばらく放置するなど、最後まで使い切ってから捨てましょう

下記は消費者庁が出しているモバイルバッテリーの発火実験動画のリンクです。



出典：消費者庁ウェブサイト <https://www.caa.go.jp/>

2月8日は第51回衆議院議員選挙の投票日です。

選挙と聞くと、

「なんだか難しそう」

「自分の一票で何か変わるの？」

「政治ってあまり身近に感じない。」

そう思う人もいるかもしれませんが、でも、家賃や

生活費の支援、奨学金や学費のこと、仕事や働き方、医療や福祉の制度など、私たちの毎日の暮らしに関わることは、実は政治の話し合いによって決められています。

投票は、「こういう社会になってほしい」「こんな支援があつたらいいな」という思いを伝えるための方法のひとつです。すべてを完璧に理解していなくても大丈夫です。少し候補者の考えを見てみたりするだけでも十分です。

初めて投票する人も、これまであまり行ったことがない人も、ぜひこの機会に投票所へ足を運んでみてください。

当日行けない場合は、期日前投票も利用できます。何か分からないことがあれば、施設の職員さんに聞いたり、サポートいずみに連絡をくださいね！

